

# 低消費電力 RLD ディテクターヘッド

## 光ファイバー式レーザーエンコーダ用

レニショーのRLE光ファイバー式レーザーエンコーダは干渉計を使用して、高分解能、且つ高精度の位置決めフィードバックを行います。

RLE システムは、RLU レーザーユニットと 1 台、あるいは 2 台の RLD ディテクターヘッドで構成されます。このデータシートでは、低消費電力の RLD ディテクターヘッドについて説明します。

ディテクターヘッドは、標準の RLD 仕様に指定された <2W よりも低い消費電力を必要とするアプリケーションに、低消費電力オプションをご利用いただけます。消費電力を最小化するために内部の基板を変更し、通電表示のLEDをなくしています；通常品との混乱を避けるためLEDの場所は黒く塗りつぶしています。

このデータシートでは、標準の RLD10 との違いのみを示しています。その他のすべてのパラメーターは、RLD10 0° ディテクターヘッドのデータシート(レニショーパーツ No L-9904-2364)と光ファイバーレーザーエンコーダの取り付けガイド(レニショーパーツ No M-5225-0701)に示された標準の RLD の仕様と同じと考えることができます。

## 仕様の違い

熱損失	0.14 W
公称データ遅れ*	2.9 μs
最高速度**	23.7 mm/s (PMI / DI)
	47.4 mm/s (RRI)

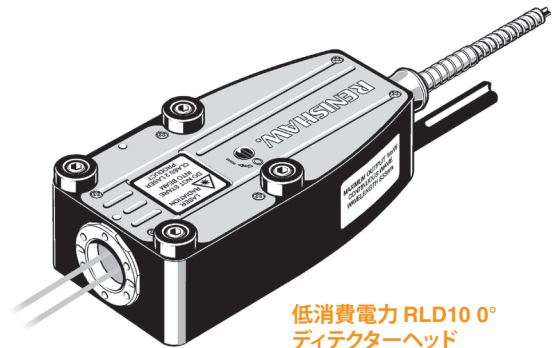
\* この値には、±3% の 2 軸間で予想される変動分も含まれています。

\*\* これは、利用できるすべてのデジタル矩形波出力分解能とアナログ矩形波出力に当てはまります。

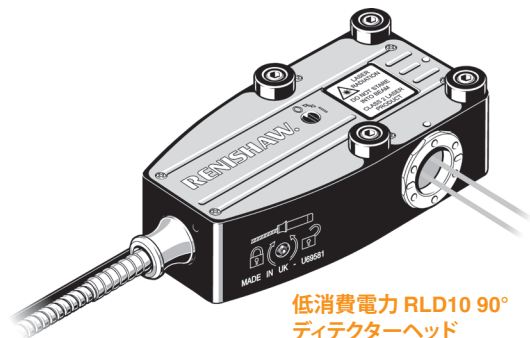
## レーザー光の安全性の規格について:

IEC/EN60825-1、IEC/EN60825-2 および米国規格 21CFR1040 と ANSI Z136.1に基づき、Renishaw RLEレーザーは、クラスIIレーザーに分類されます。まばたきにより目を保護することができるため、保護メガネの着用は必須ではありません。ただし、レーザービームを直接見つめたり、ビームが人の目に入らないようにしてください。散乱・反射したビームを見ても、安全上問題ありません。また、クラスIIの限界を超えるレーザー光を浴びる可能性があるため、いかなる方法でも、装置を分解しないでください。

仕様は予告無く変更される場合があります。



低消費電力 RLD10 0°  
ディテクターヘッド



低消費電力 RLD10 90°  
ディテクターヘッド



低消費電力ディファレンシャル干渉計ディテクターヘッド

各国レニショーの連絡先は、メインサイト  
[www.renishaw.com](http://www.renishaw.com)をご覧ください。